
昨日の明日。

あるふぁ@空鍋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

昨日の明日。

【Nコード】

N3567T

【作者名】

あるふぁ@空鍋

【あらすじ】

肉体と精神の分離を実現した世界。

男と女の、嘘つき。

(前書き)

お酒は20歳になってから。

きりきりと音を立てる胃をおさえながら、道を歩く。
花のような香りはほとんどが偽物で、
アルコール酵素は頭でダンスを踊る。

学生の日曜日と言えば、たいがい二日酔いから始まる。
たとえそれがどこであれ、自分の体が自分のものである限りそうだ。
いつそのこと身体を変えてしまえば楽になれる。
そう考えたおバカな天才がいた。

いま、自分は彼女の体を借りている。
彼女は疲れたといって寝ている。
なのでこの肉体の主人格は僕だ。
僕の本当の肉体は、目の前でピクリとも動かず、仮死状態にある。
血中のアルコール濃度と、生体バランスが落ち着くまではこのまま
でいることにする。
そもそも、彼女はガールフレンドでもなんでもない。

人間の生活が便利になればなるほど、24時間の中で物事を処理
することが難しくなった。
そんななか、二日酔いを幽体離脱のような仕組みで回避した若き科
学者にスポットライトが当たったことは言うまでもない。
そして、万人が精神移動できるようになった時、個人は男女一組で
認識されるようになった。
もちろん組みを変えることは自由だが、制度が当たり前になった近
年では、
コンピュータープログラムが選定した組み合わせに異論を唱える者
の方が少なくなっていたのである。

身体が二つあれば、48時間ぶっ続けで動くこともできる。

しかも男女であれば、なんとかお互いの体へ気を使い、無理もおこりにくく、

そしてなんととっても、男女の性差を緩和する最良の手段にもなった。

ある意味、究極のギブアンドテイク。

昔の人は、親からもらった体なんだから大事にしなさいと言ったそうだが、

今では、パートナーの身体でもあるんだから、大事にする義務がある。ということである。

しかし、身体を移し替えたところで、きのうの無茶な飲み会の記憶がなくなるわけではない。

なんとなく、頭も痛いし、からだもだるい。

彼女は昨日は飲んでいないはずだが、風邪でも引いたのだろうか？困ったな。明日は12時間借りるはずなのに。コンディションが悪ければ効率性に支障が出る。

しかし、彼女が寝ているからいいものの、僕も昨日は飲んでいないことになっているから、彼女にバレると色々とまずい。

水でも飲もうかと、身体を起こす。

同時に、自分の体も動く。

二人、眼が合う。

「あれ？」

「おはよ、」

「お、おう」

なんとなく、お互いがふらふらしている。
もしかして、

「あんだ、、、」

「おまえ、、、」

「「飲み過ぎだよバカ」」

これだから大学生は。

いつの時代も変わらなく、飲み屋が繁盛するのもつなづけるよ。

(後書き)

感想など頂ければ嬉しいです。
お酒はほどほどに。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3567t/>

昨日の明日。

2011年10月9日03時00分発行